



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

# わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ  
http://waka-kusa.net/

発行  
志津南地区自治連合会  
連絡先  
志津南市民センター  
(公民館) 563-6206

## 第11回志津南ふれあい夏まつり

### 過去最高4千人が楽しむ 協力し合い全員で盛り上げる

「第11回志津南ふれあい夏まつり」(同実行委員会主催)が7月26日、若草中央公園で行われ、過去最高の4000人の人出で賑わいました。「みんなの輪!!緑豊かな街づくり」という今年のテーマ通り、模擬店やプログラムでは全員が一つになって協力しあう場面が多く見られ、参加者全員で地域最大のイベントを盛り上げました。(2面に関連記事)



日差しが厳しい夏日。それでも、夕方には涼しい風も吹き始め過ごしやすい気候に。会場で配られた風船やうちわを手にした参加者は模擬店を回りながら次第にステージの周りに集まりました。西日がまだまだ眩しい午後5時、ファンク系ブルスロックバンド「The Soul To Ask」が軽快にオープニング演奏。その後、ステージでは「トリオEです&G・S・O」が「ブルーシャトー」、「東京ラブソディ」など、懐メロを演奏し、参加者が歌詞を片手に歌いました。

トしました。昨年引き続き、南笠楽鼓隊による力強い太鼓の演奏や「トリオEです」のフルトとギター、の美しい音色で会場は一気に祭りムードに。恒例となった若草くみ保育園児の「まんまる音頭」では浴衣や甚平を着た園児が可愛らしい踊りを披露しました。ステージの周りでは保護者らがわが子を見守り、ビデオを回しカメラのシャッターを切っていました。また、公務の合間をぬって駆けつけた橋川渉市長は「緑豊かな街づくりに一緒に取り組みましょう」とメッセージを送ったあと、模擬店を回り、参加者と交流を深めました。今年は三日月大造衆議院議員も会場を訪れ、ステージから声をかけました。すっかり日が落ちたころ、会場中央の櫓を囲んで盆踊りが行われました。今年も六地藏江州音頭同好会の美声が雰囲気盛り上げ、赤いはつびを着た子供が輪を作って踊り始めると、徐々に踊りの輪が大きくなり、会場は約40分にわたる夏の夜の風物詩を堪能しました。

南笠東公民館を拠点に活動している南笠楽鼓隊が夕日浴びながら力強く太鼓を打ち鳴らし会場を感動させました。今年で2回目の参加ですが、性別、年齢に関係なく子どもも大人も懸命にバチを打つ姿は迫力満点でした。明るく未来を築きたいという願いを込めた「飛翔太鼓」、自然に負けないたくましさ表現した「弁天太鼓」などを力いっぱい演奏しました。きめポーズもばっちり決まり、「練習の成果を出せてよかった」と笑みを浮かべていました。(龍大生取材班 手島瑤奈)



太鼓の響き迫力満点

#### 南笠楽鼓隊

ナールに向かいました。(龍大生取材班 長谷川亜美)

## 炎天下で消火訓練

志津南自主防災連絡会は7月13日午後、若草中央公園で消火訓練を実施。写真、各導のもとに訓練、活発な質問

町内から90人が参加しました。当日は朝から町内一斉清掃が行われた後の炎天下の消火

も出るなど、有意義な実地訓練となりました。(自治連防災担当 江口孝)



# 西日はね返し熱演



オープニングを前に会場を盛り上げたのは、今回初めて出演したファンク系プラスロックバンド「The Soul To Ask」。

金管楽器とサキソフォン、打楽器の、いわゆる「生楽器」編成の6人(男性4、女性2)のバンドが西日をまともに受けながら、メインステージにとどまらず、客席近くまで下りて躍動感あふれる演奏を披露、会場をわかせました。

同バンドは23歳から38歳の音楽好きが集まって結成、プロ活動のかたわら、養護施設や老人ホームなどで慰問演奏しているということです。

メンバーの一人が若草に住んでいることから演奏が実現したもので、お年寄りにはなじみの薄いファンク系でも、リーダーのUcchyさん(31)は「年齢に関係なく楽しんで帰ってもらえれば」と話していました。

(龍大生取材班 成田美和)

## フリマにぎわう



今回初めて出店した中村さん

夏まつり恒例のフリーマーケットが今年もショッピングモール若草で開かれ、10店が出店、アクセサリーや自ら現地で買

付けたインドネシアの小物、アフリカの民芸品など色とりどりの商品が並び訪れた住民らでにぎわいました。  
中でも今回初めて出店した中村理恵さんは若草から京都に嫁ぎ、「ひなぎく」という店舗名で木の小物や麻のハンカチなどをインターネットで販売していますが、その商品を持ち込んで並べました。  
予想以上の売り上げだったそうですが、それよりも「(通販と違って)お客さんの顔を見、直接話げできたのが収穫」と満足そうに話していました。

## 盆踊り楽しかった



会場中央の櫓(やぐら)を囲んで行われた盆踊り。赤いはつびを着て輪の中で踊った子供達が盆踊りを盛り上げました。

3丁目の小早川倅ちゃんと小早川修くんが、初めて盆踊りを踊ったけれど、楽しかった。また来年も踊りたい」とにっこり。

## 注目のフランクフルト



「ゆでてから焼くというひと手間が注目」と声を大にしていたのが体育振興会のフランクフルト。「衛生面を考え調理法を工夫しました。味もおいしくなったので一石二鳥です」とアピール、一本一本ていねいに焼き上げていました。

## 焼きそばもチームプレー

若草ソフトボールクラブは焼きそばを販売。同クラブの舟木さんは「ソフトボール同様焼きそばを作るのもチームプレーなので、普段通り阿吽(あうん)の呼吸で作っています」と楽しそうに調理していました。

(以上龍大生 長谷川亜美)

## GSOにエール



GSOの元メンバーで祭りに来ていたご夫婦は「新しい曲が入っていて頑張っているのが分かる」とうれしそうに演奏に聴き入っていました。

## 威勢よかつた焼き鳥



数ある屋台の中で威勢のいいかけ声は志津少年野球部の

焼き鳥。「祭りを盛り上げるにはこちらも楽しくやらなければ」と気合を入れて客を呼び込んでいました。

## 人気抜群のかき氷



列が途絶えることがなかったのが社協のかき氷。子どもから大人まで多くの人が氷に舌鼓。一番の人気は昔ながらのイチゴ味。「おいしい」と子どもたちは目を輝かせていました。

(以上龍大生 手島瑤奈)





8月27日(水)  
やすらぎ学級  
13:30~17:00

9月5日(金)  
健康相談  
ふれあい広場  
9:30~12:00  
民生委員児童委員協議会  
ふれあい昼食会  
9:00~14:00

ボランティア泉  
9月6日(土)  
町内学習懇談会推進者研修  
第4講座  
19:00~21:00

9月15日(月)  
敬老祝賀会  
11:00~15:00  
(受付 10:30~ )  
社会福祉協議会

若寿会：  
・健康ウォーキングは  
毎月第1・第3土曜日  
・奉仕作業は  
毎月第4土曜日  
ともに8:45若草中央公園集合  
地域サロン：懐メロを歌う会  
毎月第2・第4火曜日  
10:00~11:30 市民センター

印の会場は志津南市民センター(公民館)です。



雑草退治に汗を流す参加者

普段からボランティア活動で空き缶やたばこの吸い殻、ゴミを拾い続ける老人クラブのメンバーや自主的にバス停周囲を美しく、と活動する人たちによって「緑あふれる美しい街志津南」が支えられていることを改めて

恒例の「夏の一斉清掃」が7月13日朝、若草中央公園、東公園、西公園、岡本奥山児童公園の4カ所を重点に行われ、参加した住民約700人が生い茂る雑草の刈り取りや低木の剪定、ごみの撤去に汗を流しました。前日の午前中に各公園をあら

# 一斉清掃、700人が公園・歩道で

はじめ機械での草刈り作業を済ませていたため、午前7時30分から約1時間は機械での剪定や草刈り、同8時30分からは暑い中、参加者たちが各班長の合図で一斉に児童遊園をはじめ各班の持ち場に散り、カマや剪定ばさみ、竹ぼうきを手に清掃作業を開始。同10時頃には21カ所の集積場に「刈り草」の大きな山が築かれました。おかげで志津南一帯はスッキリ、サッパリ。

## 第6回囲碁ボール大会 若草4丁目が優勝



一打一打を慎重に

みなさん、お疲れさまでした。(福利環境部)

志津南地区社会福祉協議会の第6回町内対抗「囲碁ボール大会」が7月6日、志津南市民センターで開催されました。A・Bゾーン合わせて9チーム、老若男女60人が参加、フ

## ササに願い託し

「たんぼぼ」「おやこっこクラブ」合同の七夕会が7月4日、市民センターで開かれ、親子あわせて52人が参加しました。

幼児たちはママと一緒に青々としたササに願いごとや可愛い飾り物をつけては手をたたくて喜んでいました。

また、この日は赤ちゃんの健康相談日でもあり、和室では検診を終えた親子が見学がてら参加するなど、楽しいひとときを過ごしました。幼児たちは笹飾

ロアの暮盤に熱戦を展開しました。周りを取り囲んだ世話役や応援が選手の一打一打に声援を送り会場は熱気にあふれました。A・Bゾーンの上位2チーム

が決勝戦と3位決定戦を行い若草4丁目が見事、優勝しました。成績は次のとおりです。  
優勝 若草4丁目  
準優勝 若草1丁目  
3位 若草8丁目混合

## 若草文庫でも七夕飾り

(民児協)

これに先立ち、若草文庫でも7月2日、若草第三集会所で七夕飾りをしました。"写真お母さんと幼児・小学生13人が集まり、願いを書いた短冊をはじめ、色とりどりの折り紙で



思い思いの飾りを作りササに結び付けたり、千羽鶴ならぬ45羽鶴をつくるなど、にぎやかな七夕飾りとなりました。

## 受講生募集

志津南市民センターでは9月に開催する「家庭教育支援講座」の参加者を募集しています。

日時 9月24日(水)  
午前10時~正午  
内容 親子のふれあい「絵本とおもちゃを通して」

講師 KIDS いわきば  
ふ岩城敏之さん

場所 志津南市民センター  
対象 市内に在住、在勤の未就学児とその保護者  
定員 40人(20組)  
受講料 一組300円  
受付 8月16日~9月12日  
受講料を添えてお申し込み下さい。応募多数の場合は抽選。



ママと一緒に飾りつけ

# サウザン 万歳

中国情緒豊かなBGMに乗ってゆるやかに太極拳の型をとる女性たち。その一つひとつの動きは確かに武術だがカンフーのような激しさは全くない。

「右手を突き出し手のひらを返す。左手はこぶしを返して左の腰に」「腰を落とし右足を45度つしるに引く」。指導に当たる佐伯克美十字太極拳総師範の物静かな声が教室を渡る。

総師範の動きにならう。ゆったりした動作だが、額に汗が浮かんでいる。途中、佐伯さんが「そこで止めて」と声をかけ、一人ひとりの姿勢をチェック。佐伯さんが腰をポンとたたき、腰が定まっていなるとたたきを踏む。小さな笑いが起こる。この練習が約15分間続いて小休止。汗をぬぐいながらのおしゃべりタイムだ。

## 太極拳同好会若草

### 無理なく足腰丈夫に

この7月に入会し今回が3回目という平井弘子さん(65)は「6丁目」は「体を動かすことがなかつたので、友達に聞いてやってみよう」と。なごやかなムードが気に入っている。動きも無理がなく適度に汗をかくし、練習を終えたあとのすがすがしさがなにより」と満ち足りた様子だ。

また発足当初からのメンバーで、以前にも太極拳の経験を持つ山本香代子さん(60)は「4丁目」は「動きは静かだが結構こたえ、筋肉が鍛えられている感じ。以前のようにつまづくことがなくなつたし、駅の階段が苦にならなくなつた」と効果のほどを話してくれた。

誰にでもできて健康に有益。これが太極拳の極意(人気の秘密)といえるかもしれない。

指導に従って呼吸を整えゆったりと型を取る会員たち



流れるような動きが特徴で健康によいと愛好者は多く、中国の朝の日常風景ともなっている。日本でも親しむ人が年々増え、喜多方ラーメンで知られる福島県喜多方市のように「太極拳の街」を宣言、積極的に取り組む自治体も増えつつあるという。平成17年5月、公民館講座で太極拳に接し「もっと続けたい」という参加者の声をきっかけに、大田久子さん(63)は「4丁目」がまとめ役となつて同年6月に同好会を発足させた。5月に開かれた年一回の県の太極拳交流会にはそろいのユニホームで参加した。会員は現在、40代から80代の女性ばかり23人。

#### メモ

代表員 大田 久子  
23人  
活動 毎週月曜日午前10時～正午  
(うち2回は自主練習)  
場所 志津南市民センター(公民館)  
会費 月額1500円  
連絡先 大田代表 電話 565-0156

## 9月5日に「ふれあい広場」

未就園児の親子さん・高齢者・地域の皆さんがお楽しみ頂ける「ふれあい広場」を開催します。女性3人トリオのスイングさんをお迎えし素敵な歌声・楽しいトーク・美しい音色とともに、手遊び、大きな紙芝居、そしてみんなで歌い心豊かなひとときをお過ごしください。皆さんのご参加をお待ちしています。

日時 9月5日(金)  
受付10時  
公演10時30分～11時30分  
場所 志津南市民センター  
参加費 無料  
問い合わせ先 志津南地区民生児童委員 (丸山) 567 2513



最近、美化ボランティアさん  
の案内で若草と  
青山にまたがる  
調整池に入る機  
会を得ました。

調整池という無機質な名称とは裏腹に、なんと木立ちや一面の草むらの陰には多くの魚にまじって大きな鯉が泳いでいるではありませんか。草むらには季節によってはサギやキジなども飛んでくるといふことです。そこは生き物にとつて絶好の棲み家となっているのです。

### 調整池

子供たちが体験するヒオトープといわれるような場所です。大量の水が出なければ湿原そのものです。許可なく入ることが出来ないのが残念です。湿原の木橋を歩きながら、子供たちが生き物を観察するとか、体験の場に来れないものだろうかと一瞬夢を描きました。

いつもはフェンス沿いを歩きながら見下ろしているだけの調整池でしたが、ボランティアさんの活動のおかげでこみも見当たらず、とてもきれいな水が流れていたことになんだかとても救われたような気がしました。

このきれいな水と、そこに棲む生き物たちのために、ごみの投げ込みや雨水溝へ汚水を流さないように心がけることが私たちの務めではないでしょうか。

(K)